

3 鎌倉市の長期的展望について (資料)

3-1 長寿社会のまちづくり(資料)

長寿社会のまちづくり —これまでの歩み—

制作：鎌倉市政策創造担当

鎌倉市では、今泉台を対象として、長寿社会におけるまちづくりの課題と対策、まちづくりに向けた住民と行政の役割分担を明確にするとともに、分譲地における取組のモデル化（プロトタイプ）を構築することを目的とした検討を始めました。
検討に当たり、平成23年10月に、鎌倉市の策定組織として「長寿社会まちづくり検討プロジェクトチーム（以下、「プロジェクト」という。）」を設置しました。プロジェクトは、所管の政策創造担当職員のほか健康、高齢者福祉、子育て、市民活動、土地利用、住宅、産業振興、交通の各課にわたる職員8名が業務担当を充てて参加し、分譲地の抱えるさまざまな課題に対応するための体制を整え、検討を進めてきました。
また、平成25年1月に、今泉台町内会（今泉台の明日プロジェクト）、国立大学法人・横浜国立大学、㈱LIXIL（リクシル）及び鎌倉市の4者による「長寿社会のまちづくり」についての共同研究プロジェクトに関する覚書」を締結し、プロジェクトを拡大するとともに、この組織を核として将来の共有に向けた取組を始めました。

平成23年（6月～12月）

平成24年（1月～12月）

平成25年（1月～3月）

鎌倉市

候補地に選定した分譲地の
アンケート収集

長寿社会のまちづくり検討
プロジェクトの設置

プロジェクト実施地の
候補選定

（高齢化率・生活環境など）
今泉台に決定

プロジェクトの作成

□交通
□買物・生活支援
□健康づくり/介護・医療の提供
□地域づくり/コミュニケーション
□次世代育成

協
議
開
始

課題を整理

プロジェクトチームの 当初取組

長寿社会のまちづくりにして定期的に意見交換を実施

住民アンケートを実施
課題の整理（短期・中期・長期）
「泉台の明日プロジェクト」
を設置

鎌倉市
在住勤務・自地域勤務
の連携を整える

隣近接によるサークル
利用/パラソラスの実現

住宅地のコミュニケーション
の強化

▽
年層の
増加を目指す

住み慣れたまちで、
安心して住み続けら
れる仕組みづくり

今泉台町内会
「フレッド」の提供・協力

プロジェクトチームを
3つに分けて検討

▽**入居と強隣**

深夜入居の増便、急行バス小型バスの運行（巡回）

団地内移動手段の検討と試行（3月～5月末）

住宅内にサロンをもつ社会福祉法人の協力を得て
放談後の子どもの居場所づくりについて協議

サロンの「よりの道」視察
（写真③）

おなりの子ども
の家視察

官民産学による運営委員会設置

「長寿社会のまちづくりにしての共同研究プロジェクトに関する覚書」の締結

▽**入居と強隣**

白山社前での乗車ラックの提示

住宅の活用についてのアンケート調査を実施

小規模多機能施設「あおいち」視察（写真④）

シエアハウス視察（写真⑤）

第1回 助け合い
水開催（写真⑥）

今泉台の明日 プロジェクト

交 通

交通アクセス改良

ミニバス（オンデマンドバス）導入
のバスローテーションの導入

買 物

買物弱者の支援

○地元ボランティアによる買物代行
○移動販売車による購買会の提供
○将来的にはステーション整備

健 康

健康づくり
介護・医療の
提供

地域で生活を続ける

○小規模多機能施設の開設 ⇒ 法制度上の課題確認
○配食サービス等の誘致
○ICTを活用した診療サービスの整備（近隣病院等と連携）
○健康コンシェルジュ（知人）を導入

地 域

地域をつくり
こみユニター

地域でのふれあい

○今泉台の魅力の森素材PR（映画・ドラマのロケーション等）
○コミュニケーションの連携
○大学との連携
○特別養護老人ホーム「さらあいの里」との連携
○乳幼児の保育ニーズ（家庭的保育事業）の開設
○放課後の趣味・勉強の場づくり
○オンデマンドサロンサービスの幼托園版を設置
○自然を生かした緑の幼稚園（公園・緑地帯の活用）

**次世代育成
子育て支援**

子どもが地域で健やかに育つ
鎌倉らしい子育て

「郊外住宅地の地域資源活用とつながりづくり」

独立系技術振興機構の社会技術研究開発センターの補助金事業に応募

㈱LIXIL（リクシル）

超高齢社会における
ワーキングリサーチ

安全・安心な暮らしの
提案

横浜国立大学

将来像の共有や地域資源
の活用方法の研究

地域資源と居住空間
マッチングシステム

補助金が採択となり、今後の方向について協議

▽**入居と強隣**

放談後の子どもの居場所づくりについて協議

住宅内にサロンをもつ社会福祉法人の協力を得て
団地内移動手段の検討と試行（3月～5月末）

深夜入居の増便、急行バス小型バスの運行（巡回）

プロジェクトチームを
3つに分けて検討

▽**入居と強隣**

白山社前での乗車ラックの提示

住宅の活用についてのアンケート調査を実施

小規模多機能施設「あおいち」視察（写真④）

シエアハウス視察（写真⑤）

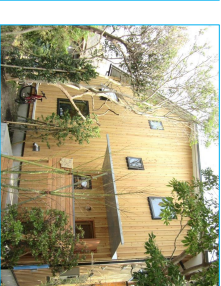
第1回 助け合い
水開催（写真⑥）

住まい方千士の研究開始

住居地の現状と課題の分
析・解決方法の研究

ワンシヨンの
検討・提案

- ① 今泉台町内会夏祭り
- ② プロジェクト4者会談
- ③ サロンの「よりの道」視察
- ④ 小規模多機能施設「あおいち」視察
- ⑤ シエアハウス視察
- ⑥ 第1回 助け合い水

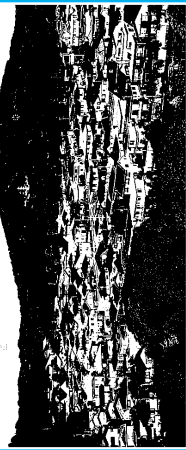


長寿社会のまちづくり

—これから—

制作：鎌倉市政策創造担当

空き家の活用



- 空き家実態調査
- アンケートによる意向調査
- ヒアリング調査
- 法的整理、補助制度調査等
- 活用事例調査（先進事例・ニーズ調査）

空き家に新たな価値を付加し、再生する手法を検討していきます。

フューチャーセッション「助け合いラボ」

空き家等の地域資源の活用を図るため、住宅の所有者に居住実態を伺いするアンケート調査を行いました。その結果、抽出された資源を活用して、例えば、若年層の居住意識に働きかけられるような多世代同居、シェアハウス、医療等のサービス付高齢者住宅への再生を考えると、隣近接を実現するテレワークの導入など、中古住宅の価値を高める手法について検討を行います。
また、㈱LIXIL（リクシル）が商店街の空き店舗を再生し、店舗としてだけでなく、共同研究の拠点として地域住民の交流や情報交換の場としても利用できるように整えました。
今後は、隣近接によるワークライフバランスの実現と、人と人がつながられる住宅のコミュニティ強化により、若年層の移住を促進し、今後とも多世代同居住宅がより一層魅力的な住宅地になれるよう多くの地域住民の意見をもちに住宅地再生モデルをつくり、生運に渡って安心して住み続けられるまちづくりを進めていきます。



多世代同居
(2世代ふさと回廊作戦)

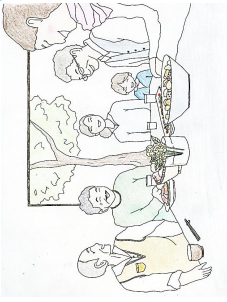
隣近接
(テレワーク環境整備等)

シェアハウス
(シェアディング等)

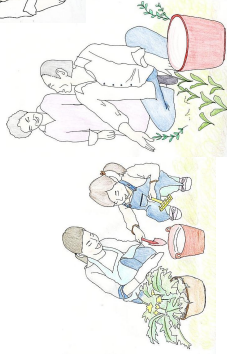
安全安心居住
(サービス付高齢者住宅等)

住宅改修モデル提案／改修事業・実証実験

○提案イメージ図



コミュニティ食堂



シェアガーデン

持続可能なまちづくり

課題解決に向けたアクションリサーチ

通常

店舗 ⇒ 装飾タイル、工芸的な物品、日用品を中心とする商品販売

- その他
- ①長寿社会のまちづくり共同研究プロジェクト活動に関わること【ワークショップ・運営委員会】
 - ②共同研究プロジェクト活動で実施が決定したこと【住民交流促進のためのイベント開催】
 - ③㈱LIXIL（リクシル）の研究活動に関わること【住民による研究商品の評価など】

▽ 今泉台の将来像をみんなで話し合う3段階の活動イメージ



STEP1 みらいサロン



- 語り場・話し合い
- ・みらいずみ工房の使い方を話し合う
例えは、
カフェの活用内容の提案
学習保育
ランチ倶楽部
 - ・ワークショップの企画立案

STEP2 みらいセミナー



- 勉強会
- ・他地域の事例紹介
例えは、米農産
・講座開設（例えは、米農産
理・高齢者講座など）
・「防災・安全ハリアップ」講座
「地域交え合い」
「要介護者の見守り」
「サービス付き高齢者住宅」
運営のノウハウなど

STEP3 みらいワークショップ



- 提案作業・工房
テーマ例
- ・「100年生きる今泉台」
・老後の生き方のデザイン
・地域資源の再発見と活用
・多世代交流
・まち全体を使いこなす
・まちの宝探し

研究・交流の場づくり

LIXIL 店舗 みらいずみ工房



Before After

㈱LIXIL（リクシル）が商店街の空き店舗を再生し、店舗としてだけでなく、共同研究の拠点として地域住民の交流や情報交換の場としても利用できるように整備しました。

店舗活用

みらいずみ工房 って何するところ？

(株)LIXIL(リクシル)の日常実用品などの販売店舗ですが、今泉台の活性化研究活動や交流の輪を広げる場としてもご利用していただけるところです。

【研究活動の場】

高齢化社会課題解決・研究・セミナーなどを行っています。

① 『長寿社会の町づくり協同研究プロジェクト』研究活動

メンバー：今泉台町内会、鎌倉市役所、横浜国大、(株)LIXIL

空家・空地の有効活用、みらいずみ工房の使い方など

② 『(株)LIXIL』の研究活動

高齢化社会における暮らし方・住まい方のニーズ調査、住民の皆様との協同研究(独居高齢者の楽々食事システム等)など

【交流促進の場】

つながりを広げ、心と暮らしを豊かにする場所として、気軽にご利用ください。

① 交流促進・暮らしに役立つ イベント開催など

② 憩い・談笑

利用方法は、別紙『みらいずみ工房利用について』をご覧ください。

みらいずみ工房利用について

【開店日時】

曜日	開店・閉店時間
月	13:00～17:00
火	休み
水	11:00～17:00
木	11:00～17:00
金	11:00～17:00
土	休み
日	休み

- 1) 原則、LIXIL勤務日以外は休みとさせていただきます。
※祝日、夏季、年末年始、大型連休など
- 2) LIXIL内業務都合等により、開店・閉店日時が変更になる場合がありますが、ご了承ください。
- 3) 利用状況をふまえ、開店日時を変更する場合があります。
- 4) LIXIL社員駐在は週3日程度です。
※駐在予定日はスケジュール表をご覧ください。

【利用方法】

利用目的	開店時	閉店時	予約
①活性化活動・研究・イベント	○	△ ※1	要
②憩い・談笑・短時間会合	○ ※2	×	否

- ※1 利用したい場合は、LIXIL社員にご相談ください。可能な範囲で対応します。
※2 ①②の利用目的・規模等により利用できないこともあります。

1) 利用料は不要です。

ただし、店内コーヒーセルフサービスは若干の運営協力金を頂戴いたします。

2) 予約は、原則利用2週間前までにFAXかメールにて、会合・イベント名、利用主旨・目的 利用希望日時・人数、責任者名、連絡先を明記の上、お申込み下さい。

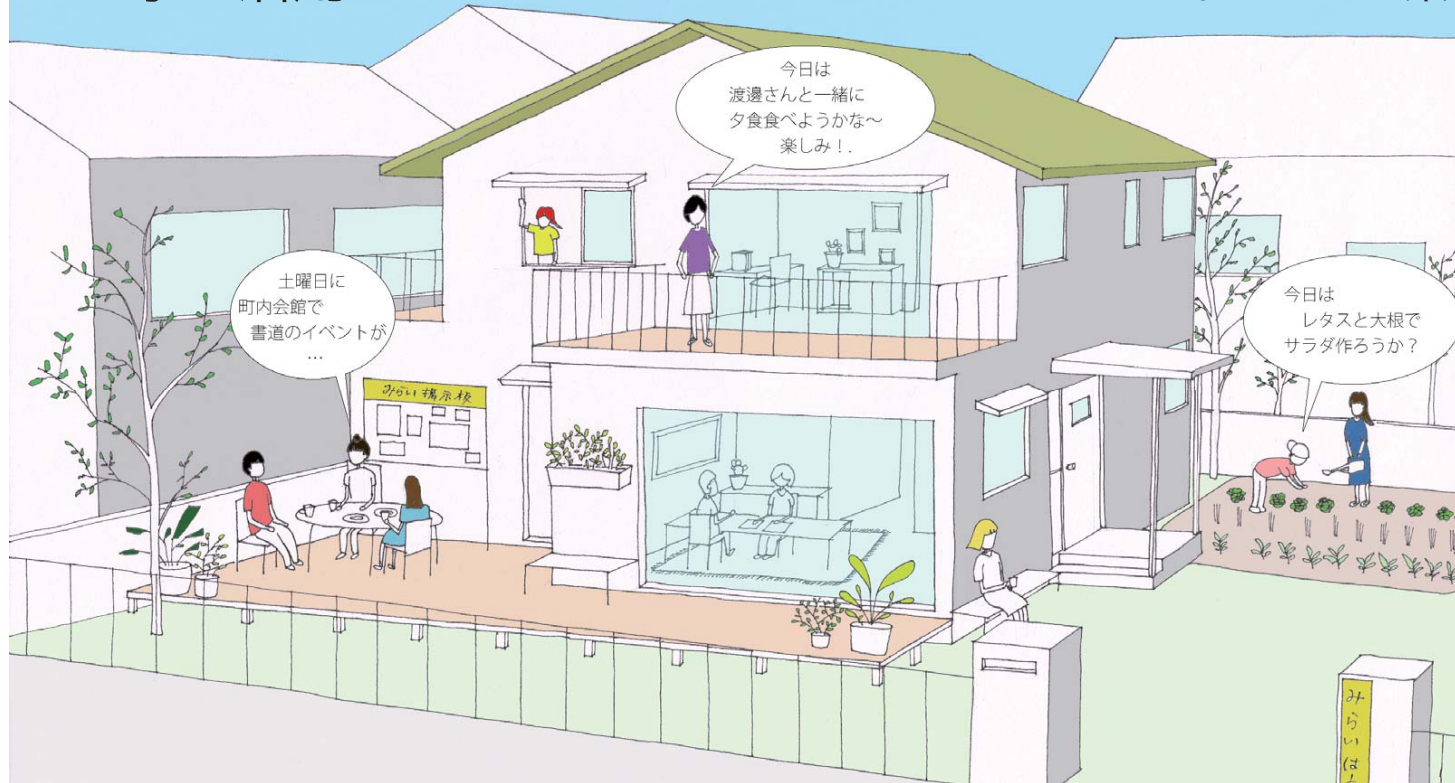
継続的利用の場合は、頻度(1回/月など)と可能な範囲で2階目以降の利用希望日を合わせてご記入ください。

利用可否結果は利用責任者に回答した上で、店舗内スケジュール表に記載、および
グーグルカレンダーにて公開いたします。

【申し込み先】 FAX	0467-67-1256	(みらいずみ工房)
メール	miraizumi@m.jcnnet.jp	(JCN鎌倉)
【問い合わせ先】 TEL	0467-67-1256	(みらいずみ工房)

【利用ルール、マナー、お願い】

- ・他の利用者・近隣に迷惑がかかる、またはその恐れがある行為・言動は厳禁
- ・火気厳禁 ・禁煙 ・アルコール類の持込は禁止
- ・単なる営利目的のものは原則利用不可
- ・店内清掃、ゴミ処理、整理整頓・省エネ等への協力



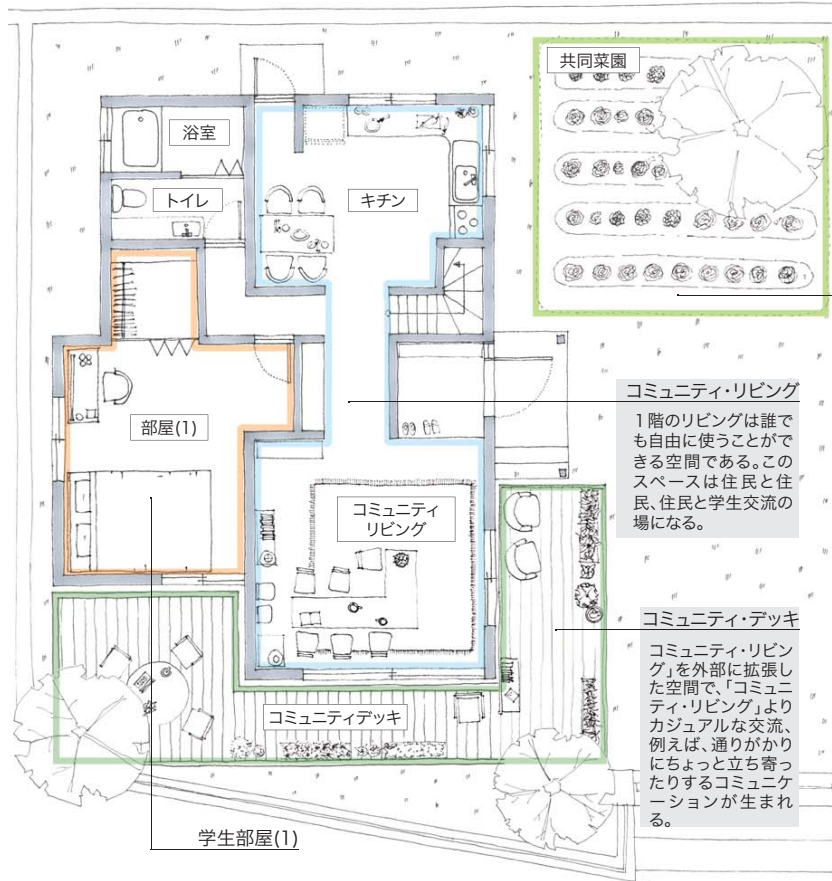
「シェアハウス+コミュニティ・リビング案」の特徴 - 1階には「部屋(1)」、「コミュニティ・リビング」、「トイレ」、「浴室」があり、2階には「部屋(2)」、「部屋(3)」、「部屋(4)」、トイレがある。外部には、「共同菜園」と「コミュニティ・デッキ」がある。

「コミュニティ・リビング」は、今泉台の住民であれば誰でも自由に使うことができる地域のフリースペースである。また、この空間はシェアハウスで居住する学生

も共に使う空間なので、「コミュニティ・リビング」は住民と住民、又は学生と住民の交流の場になる。「コミュニティ・デッキ」は「コミュニティ・リビング」を外部に拡張した空間で、「コミュニティ・リビング」よりカジュアルな交流、例えば、通りがかりにちょっと立ち寄りたりすることができる。共同菜園は、住民と学生と一緒に野菜を育てる畑である。一緒に汗をかきながら収穫した野菜は、地域のイベントなどで使える。

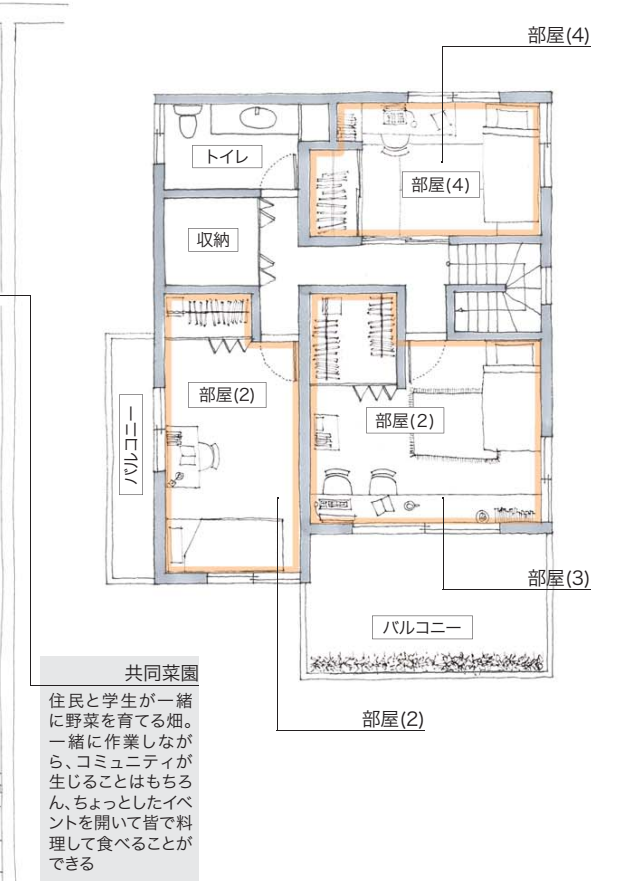
1階平面図

部屋(1) コミュニティ・リビング コミュニティ・デッキ
共同菜園 ダイニング&リビング トイレ 浴室



2階平面図

部屋(2) 部屋(3) 部屋(4)
トイレ 洗面



シェアハウス+コミュニティ・リビング案

改修について

「シェアハウス+コミュニティ・リビング案」は、できるだけ改修せず、最少の費用でまちの財産を活用する案である。「シェアハウス+コミュニティ・リビング案」に使われた住宅は仮想的な住宅で、住宅の内外は特に修理しなくても使える状況だと仮定した。

改修はコミュニティ・デッキの増設(選択事項)のみであるが、住宅の現状によって増設しなくても構わない。(既に設置されている場合又は庭が平らでデッキが無くても楽に使える場合など)そのほか、手入れが必要な箇所はクロス張替(部屋4ヶ所)、共同菜園の造成である。

住宅の概要

構造:木造スレート葺2階建

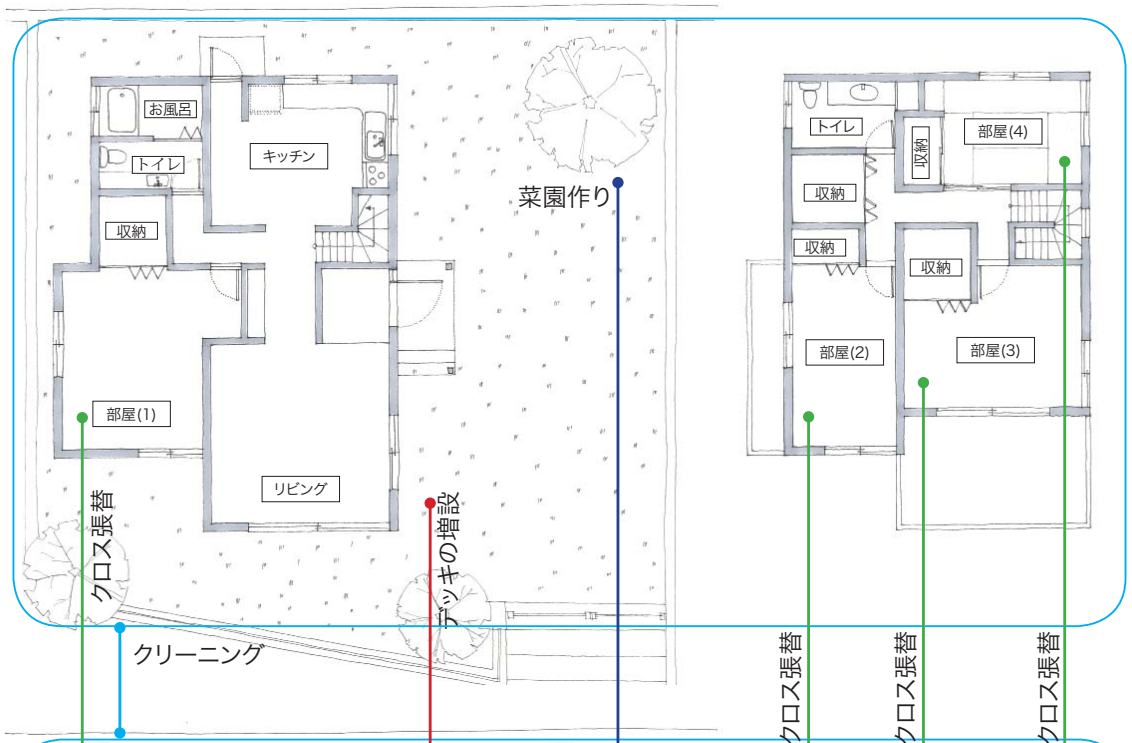
築年数:30年

間取り:4LDK

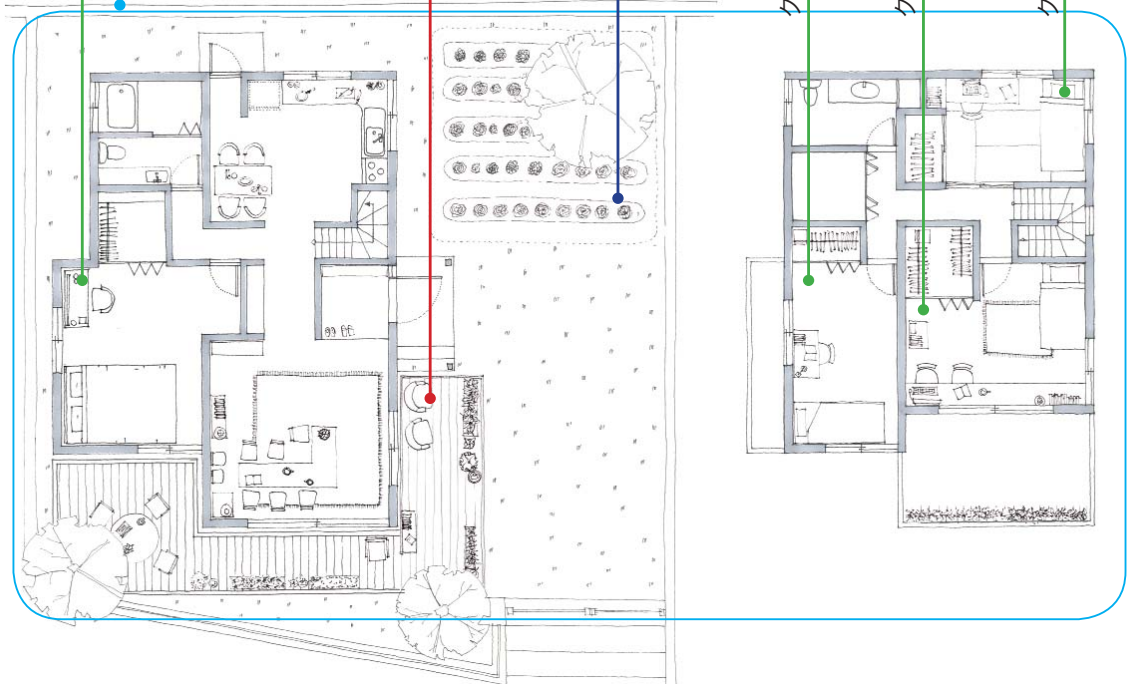
地籍:235㎡

述床面積:137㎡(1階:77㎡、2階:60㎡)

改修後平面図



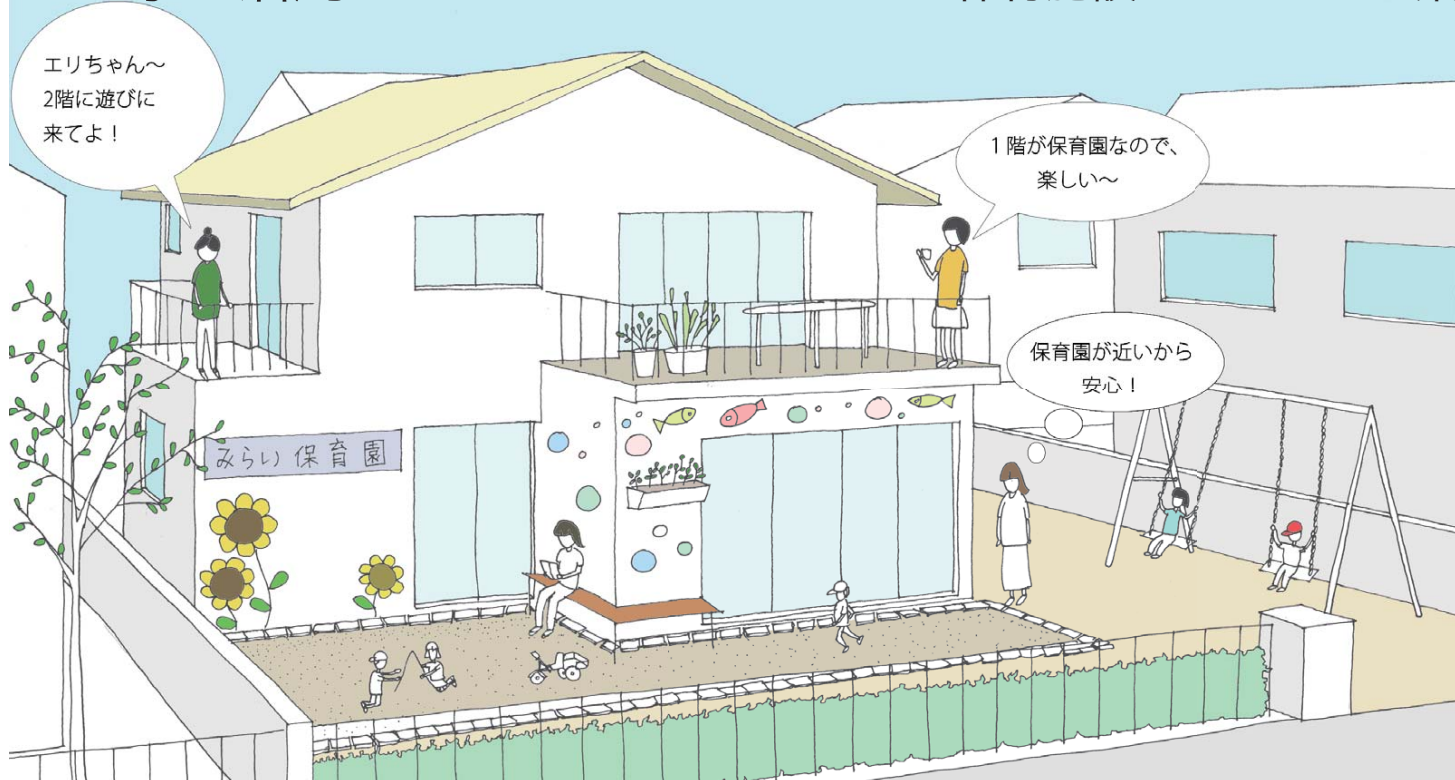
改修後平面図



改修費用の目安

空き家の活用イメージ

保育施設+シェアハウス案



保育施設+シェアハウス案 - 1階は地域の児童のため保育施設として、2階はシェアハウスとして使う。1階は地域の住民(主に子供や母親)に開放されている空間であるが、2階はシェアハウス居住者のプライベートな空間である。地域内で保育施設がある利便さに加えて、1階には母親たちが休憩をしたりおしゃべりできる空間を設置し、母親同士の交流の場にもなる。

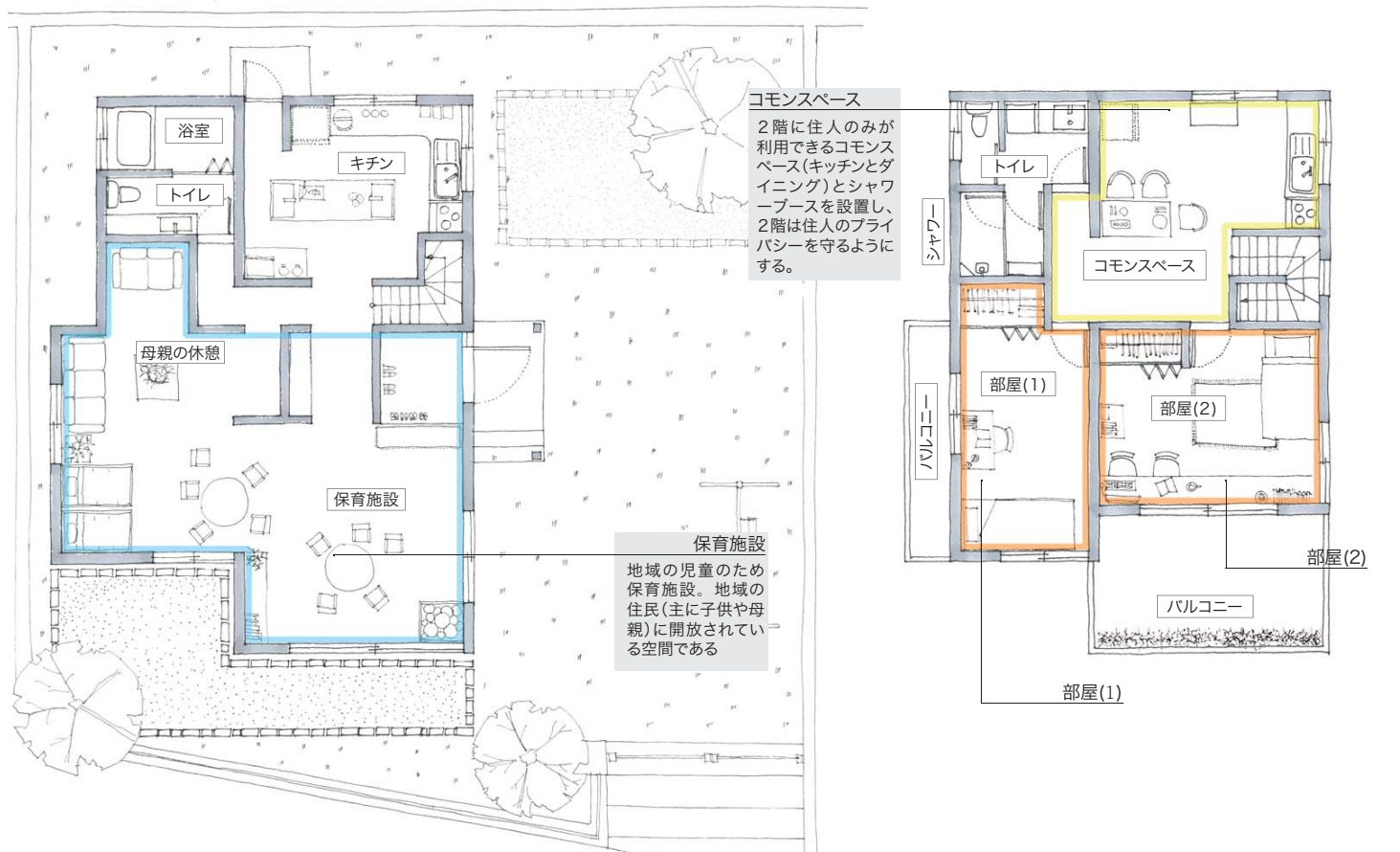
2階のシェアハウスには学生や新社会人が居住する。玄関は1階の施設利用者と共有するが、2階に住人のみが利用できるコモンスペース(キッチンとダイニング)とシャワーブースを設置し、2階は住人のプライバシーを守るようにする。

1階平面図

2階平面図

保育施設 ダイニング トイレ 浴室

部屋(1) 部屋(2) コモンスペース
トイレ シャワー



保育施設+シェアハウス案

改修について

「保育施設+シェアハウス案」は、1階が保育施設、2階がシェアハウスで構成されている。1階では、保育施設に必要なスペースを確保するため、一部の壁を撤去し、部屋とリビングを一室化する。

2階のシェアハウスには学生や新社会人が居住する。住人のプライバシーを守るため、2階にCOMMONスペース(キッチンとダイニング)とシャワーブースを設置する。

住宅の概要

構造:木造スレート葺2階建

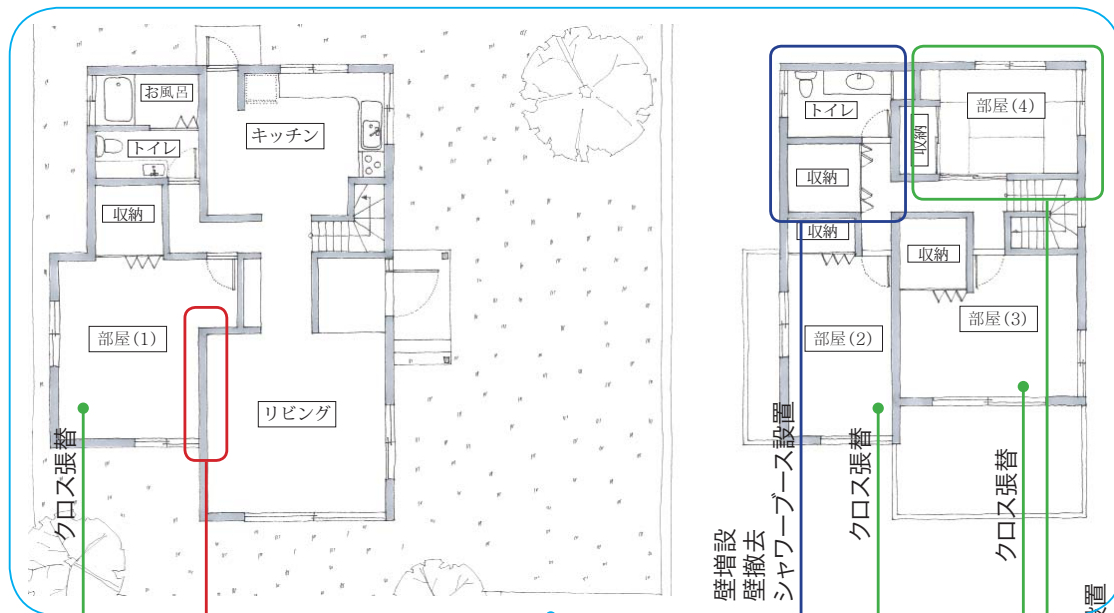
築年数:30年

間取り:4LDK

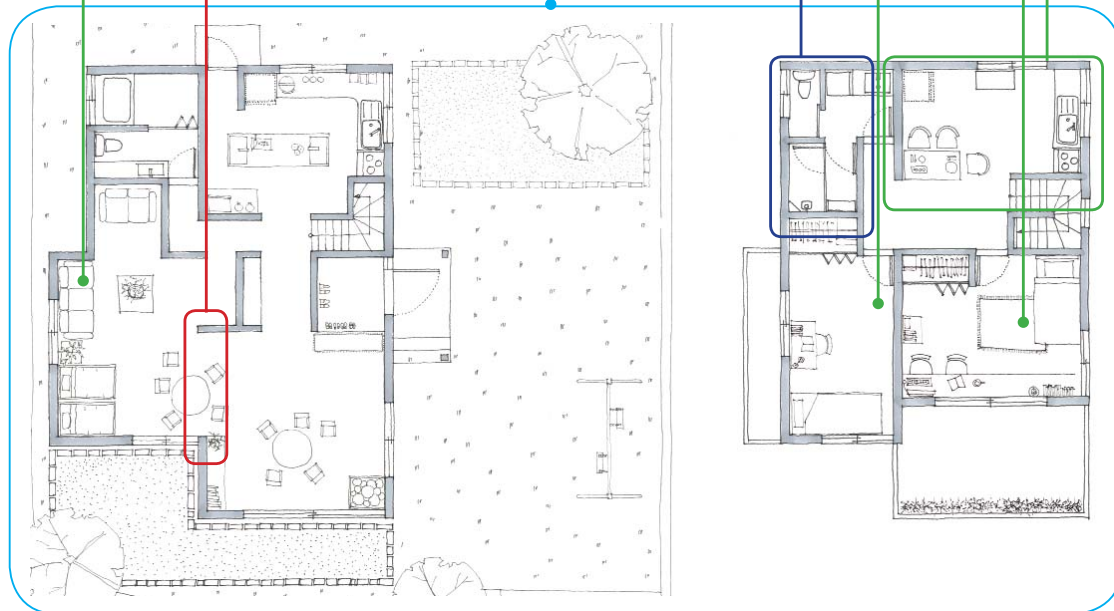
地籍:235㎡

述べ床面積:137㎡(1階:77㎡、2階:60㎡)

改修後平面図



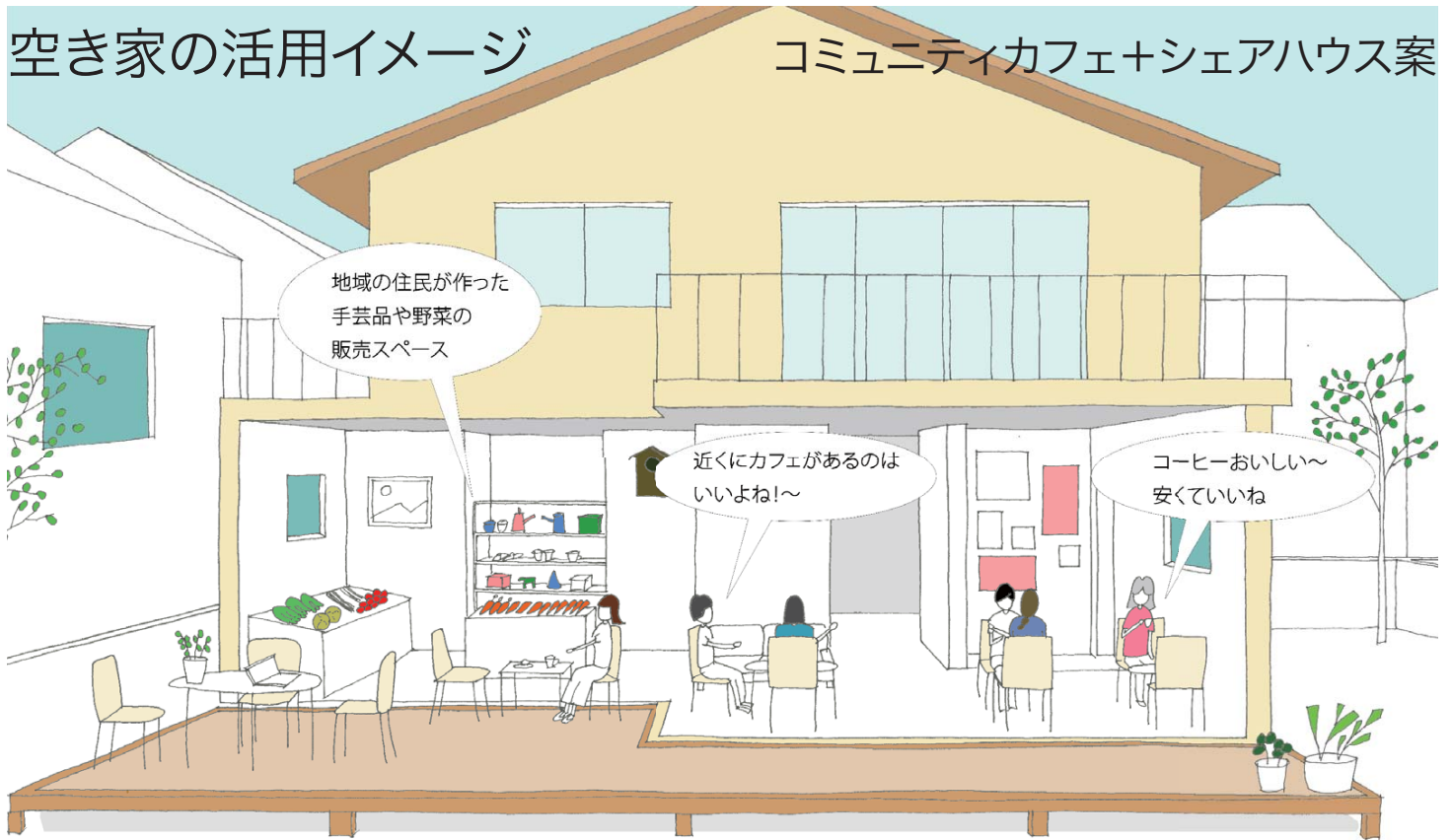
改修後平面図



改修費用の目安

空き家の活用イメージ

コミュニティカフェ+シェアハウス案



コミュニティカフェ+シェアハウス案 - 1階にはコミュニティ・カフェ、2階はシェアハウスである。コミュニティ・カフェは営利だけを目的とするカフェではなく、住民の交流などを目的とする場なので地域のイベントにも使われる。カフェの一部は貸しスペースであるので、住民の集まりなどで使われる。また、共同菜園や地域で収穫された野菜、住民が作った手芸品、クッキー、ケーキなどを展示・販売できる

ように棚などを設置し、地域産業の発掘にも役立つ。

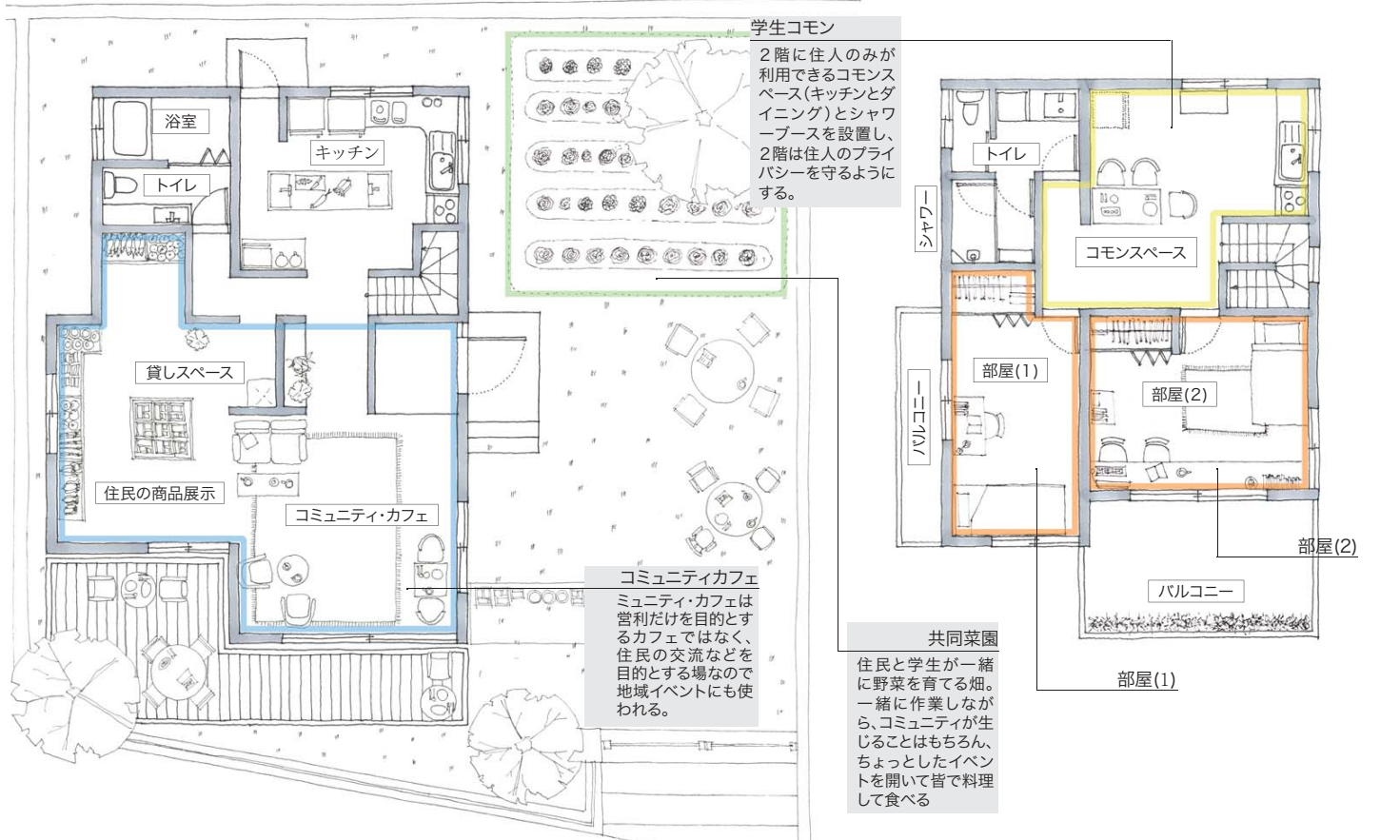
2階のシェアハウスは学生や新社会人が居住する。1階の施設利用者と玄関は共有するが、2階にCOMMONスペース(キッチンとダイニング)とシャワーブースを設置して、2階は住人のプライバシーを守るようにする。

1階平面図

保育施設 ダイニング&リビング トイレ お風呂

2階平面図

学生部屋(1) 学生部屋(2) 学生COMMON
トイレ シャワー



コミュニティカフェ+シェアハウス案

改修について

「コミュニティカフェ+シェアハウス案」は、1階がコミュニティカフェで2階がシェアハウスである。カフェの空間を確保するため、部屋とリビングの間の壁を撤去する。

2階のシェアハウスには学生や新社会人が居住する。住人のプライバシーを守るため、2階にCOMMONスペース(キッチンとダイニング)とシャワーブースを設置する。また、必要に応じてクロス張替やクリーニングを行う。

住宅の概要

構造: 木造スレート葺2階建

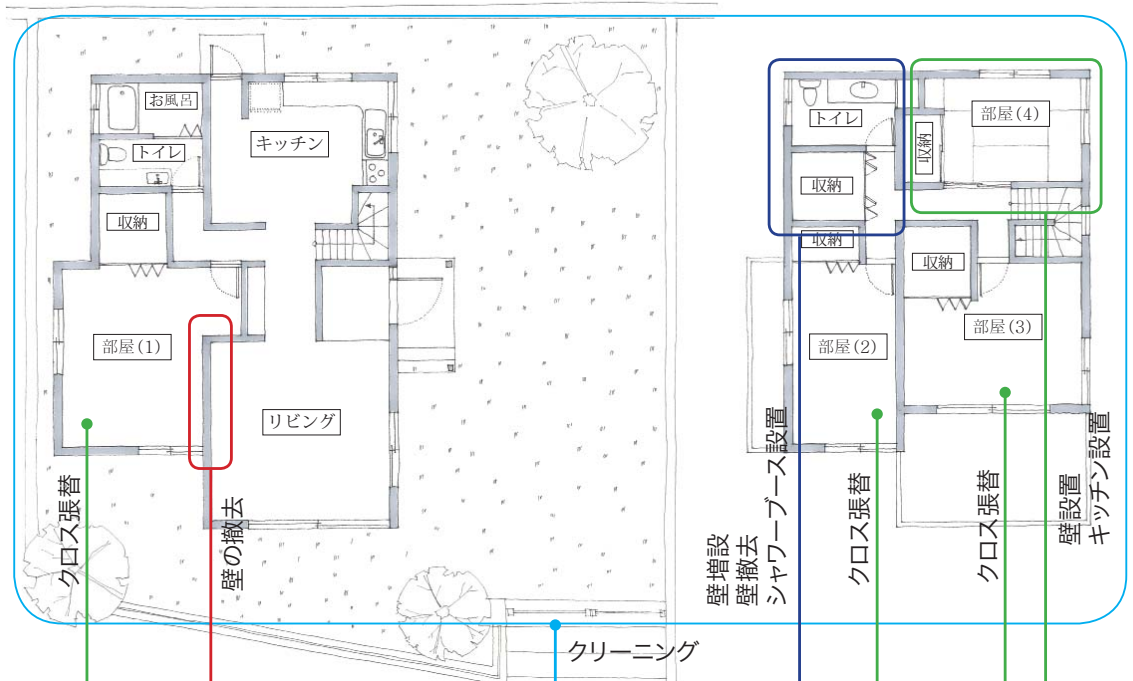
築年数: 30年

間取り: 4LDK

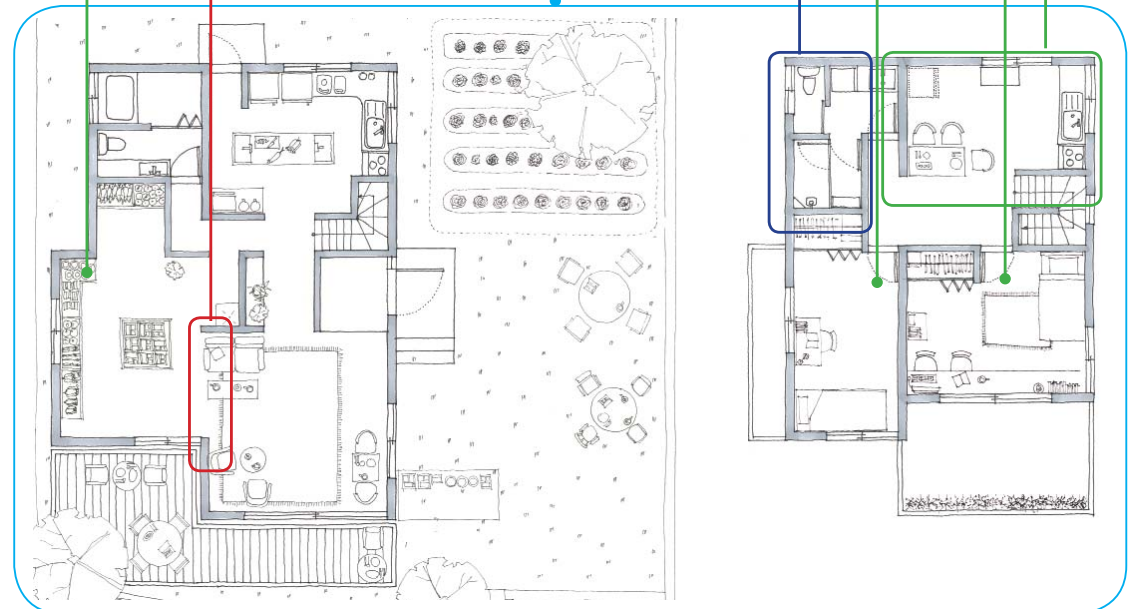
地籍: 235㎡

述べ床面積: 137㎡(1階: 77㎡、2階: 60㎡)

改修後平面図



改修後平面図



改修費用の目安

今泉台住宅地長寿社会のまちづくりに関するアンケート調査 2013

ご協力をお願いします

平成25年11月23日
横浜国立大学 建築計画研究室
今泉台町内会

1. 趣旨

近年、地域の高齢化に伴い、高台丘陵地の郊外住宅地では様々な課題が生じています。今後も高齢者の方が安心して現在の地域に住み続けるための住環境整備が求められています。今泉台住宅地は、豊かな自然に囲まれた良好な住環境とともに、各分野に秀でた人材も豊富であり、様々な地域の資源に富んだ住宅地です。これらの地域資源をみつめ直し、長寿社会を生き生きと暮らすことのできるまちづくりに実現することが求められています。

鎌倉市、横浜国立大学、株式会社LIXIL、今泉台町内会は、平成25年2月に「長寿社会のまちづくりに関する共同研究プロジェクト」に関する覚書を締結し、鎌倉市今泉台を対象に、長寿社会における郊外型分譲地再生モデルの構築に向けた研究を行っています。この度、横浜国立大学建築計画研究室では町内会の皆様にご協力いただき、この地域で活用できる住宅等の資源の現状や生活の実態、また居住環境に関する住民の方々の意識等に関するアンケート調査を企画しました。本調査は、共同研究プロジェクトの一環として実施するもので、結果を通じて、今泉台住宅地の今後のあり方を考えるに行きたいと思えます。

2. お問い合わせと守秘義務

つきましては、次ページ以降の項目について回答していただきますようお願いします。

ご協力いただいた方のプライバシーについては厳守いたしますとともに、調査で得られた個人情報に関しては、すべて横浜国立大学建築計画研究室が厳正に守秘保管し、集計した結果のみを公開すること、また研究目的以外には決して利用しないことを念のため申し添えます。

また、結果については後日、何らかの形でお住まいの皆様にお知らせいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますがご協力くださいますようお願い申し上げます。

3. 調査対象

本調査は今泉台町内会の住民の方々を対象として、全戸配布させていただきます。

4. アンケートのご返送方法について

お答えいただいたアンケートは同封の返信用封筒に入れて**11月30日(土)まで**班長にお渡しいただくか、町内会事務所までご持参いただくか、またはその封筒のままお近くの郵便ポストにご投函下さい。その際切手は不要です。

5. 調査主体事務局と照会先

アンケートの内容、回答方法などについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
横浜国立大学 都市イノベーション研究院 建築計画研究室
TEL/FAX: 045-339-4069 (午前10:00~午後5:00)
調査担当: 産学連携研究員 李 鎔根(イ・ヨンゲン)
連絡先e-mail: lee@ynu.ac.jp

今泉台住宅地長寿社会のまちづくりに関するアンケート調査 2013

アンケートは全部で8ページあります。世帯のどなたかお一人(どなたでも結構です)がお答え下さい。各問の該当する番号に○をつけるか、数値を記入してください。

I はじめに、回答される方とお住まいの住宅についてお尋ねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢を次の中から選んでください。

1. 19歳以下 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
5. 50~54歳 6. 55~59歳 7. 60~64歳 8. 65~69歳
9. 70~74歳 10. 75~79歳 11. 80~84歳 12. 85歳~89歳
13. 90歳以上

問3 ご家族の人数はあなたご自身を含めて何人ですか。

1. 1名 2. 2名 3. 3名 4. 4名 5. 5名 6. 6名以上

問4 あなたの家族構成について、次の中から選んでください。

1. 一人暮らし(独居世帯) 2. 夫婦のみ 3. 両親と子ども
4. 一人親と子ども 5. 親と夫婦のみ 6. 親、子、孫三世同居
7. 兄弟・姉妹との同居 8. 友人・知人とのみ同居 9. その他()

問5 現在お住まいの住宅に住まわれたのはいつですか。

(西暦・昭和・平成) 年 から

問6 現在お住まいの住宅が建築されたのはいつですか。(建て増しや改修をした場合は、その部分が現在の住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします) **ひとつに○をつけてください。**

1. 平成25年 2. 平成24年 3. 平成23年 4. 平成22年
5. 平成21年 6. 平成18~20年 7. 平成13~17年 8. 平成8~12年
9. 平成3~7年 10. 昭和56~平成2年 11. 昭和46~55年 12. 昭和42~45年
13. 昭和41年 14. 昭和40年 15. 昭和39年 16. 昭和36~38年
17. 昭和26~35年 18. 昭和25年以前 19. わからない

問7 現在のお住まいの住宅の広さ(延べ床面積)はどのくらいですか。あてはまるもの**ひとつに○をつけてください。** お住まいが店舗等と一緒にの場合は、お住まいとして使われている部屋の広さをお答えください。(1坪は2畳分、3.3㎡です)

1. 20㎡(約12畳、6坪)未満 2. 20~30㎡(約12~18畳、6~9坪)
3. 30~40㎡(約18~24畳、9~12坪) 4. 40~50㎡(約24~30畳、12~15坪)
5. 50~60㎡(約30~36畳、15~18坪) 6. 60~70㎡(約36~42畳、18~21坪)
7. 70~80㎡(約42~48畳、21~24坪) 8. 80~100㎡(約48~60畳、24~30坪)
9. 100~150㎡(約60~90畳、30~45坪) 10. 150㎡(約90畳、45坪)以上

問8 現在あなたのお住まいの場所を教えてください。

1. 今泉台1丁目 2. 今泉台2丁目 3. 今泉台3丁目 4. 今泉台4丁目
 5. 今泉台5丁目 6. 今泉台6丁目 7. 今泉台7丁目 8. 山ノ内

問9 現在お住まいの住宅には引き続きお住まいになりたいとお考えですか。ひとつに○をつけてください。

1. ずっと住み続けたい →問10にお進み下さい 2. 当分は住み続けたい →問10にお進み下さい
 3. 今泉台地域や周辺の別の住宅に転居したい →次の問9-1にお進み下さい
 4. 今泉台地域の外へ転居したい →次の問9-1にお進み下さい
 5. わからない →問10にお進み下さい

問9-1 転居したいとお考えの方(問9で3または4とお答えの方)のみお答えください。その理由は何か。該当するものを3つまでを選び○をつけてください。

1. 快適・便利な住宅にするため 2. 快適・便利な居住環境にするため
 3. 住宅が狭いため 4. 住宅がいたんでいるため
 5. さしあたり不満はないが良い住宅にしたいため 6. 高齢期にも住みやすい住宅や環境にするため
 7. 通勤・通学に不便だから 8. 日常の買い物に不便だから
 9. 子どもの誕生や成長、教育のため 10. 別の所に住んでいる親や子どもと同居するため
 11. 住宅や庭の維持管理を容易にするため 12. その他()

問9-2 転居したいとお考えの方(問9で3または4とお答えの方)のみお答えください。転居されたい現在の住まいについてはどのようなにお考えですか。ひとつだけに○をつけてください。

1. 売却したい 2. 他人に貸したい
 3. 子どもなどに相談したい 4. 借家なので考えていない
 5. その他()

II つぎに、今泉台における生活や住環境に対する意識についてお尋ねします。

問10 あなたは現在の暮らしについて満足していますか。以下の1~4の中であてはまるものひとつに○をつけてください。

	満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある
1. 周辺環境(住環境)	1	2	3	4
2. 日常生活	1	2	3	4
3. 社会的交流	1	2	3	4
4. 住まい(住宅)	1	2	3	4

問11 あなたのお住まいの地域は坂が多いところですが、坂があることで生活にどのような影響があると思いますか。1~4の中で当てはまると思うものひとつに○をつけてください。

	とても そう思う	すこし そう思う	あまり そう思わない	とても そう思わない
1. 住宅からの眺めが良い	1	2	3	4
2. 緑が近い	1	2	3	4
3. フライパンが保たれる	1	2	3	4
4. 足腰が鍛えられる	1	2	3	4

5. 移動が疲れる	1	2	3	4
6. 坂が多くて、自転車に乗れない	1	2	3	4
7. 徒歩での移動が不便である	1	2	3	4
8. 階段が多く、昇り降りが疲れる	1	2	3	4
9. 災害が怖い(地震の時等)	1	2	3	4

問12 現在のお住まいでお困りのことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 困っていることはない 2. 住宅が老朽化していること
 3. 住宅が手狭なこと 4. 日当たり、風通しが悪いこと
 5. 子どもが独立するなど、自分達では住宅が広すぎる(管理しきれない)こと 6. 玄関や敷居、階段などの段差が高いこと
 7. 廊下・階段や風呂・トイレ等に手すりが 8. 台所の流しや浴槽の縁が高いことやトイレが和式であるなど、設備が不便なこと
 9. 介護や介助のための機器(リフト等)がないこと 10. 緊急時に通報できる機器がないこと
 11. 家賃や借地料など住居費が高すぎる 12. 一人暮らしで話し相手がいらないこと
 13. 高齢者などが情報収集や相談できる窓口の一元化がなされていないこと 14. その他()

問13 あなたは、老後にどのように過ごしたいと思っていますか。あなたのお考えに一番近いものひとつに○をつけてください。

1. 単身または夫婦で現在の住宅に住み続けたい 2. 高齢者向けの住宅等に住み替えたい
 3. 子どもなど親族と一緒に現在の住宅または同一敷地内で住みたい 4. 老人ホーム等の施設に入りたい
 5. 子どもなど親族と一緒に住むために移転しても良い(同居または同一敷地内で) 7. その他()
 6. 子どもなど親族の近くに住みかえたい

III あなたの毎日の暮らし、外出や公共施設利用についてお尋ねします。

問14 毎日の生活についてうかがいます。以下の質問のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけて、お答えください。

1. バスや電車を使って一人で外出できますか 1. はい 2. いいえ
 2. 日用品の買い物ができますか 1. はい 2. いいえ
 3. 自分で食事の用意ができますか 1. はい 2. いいえ
 4. 請求書の支払いが一人でできますか 1. はい 2. いいえ
 5. 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか 1. はい 2. いいえ
 6. 年金などの書類が書けますか 1. はい 2. いいえ
 7. 新聞を読んでいますか 1. はい 2. いいえ
 8. 本や雑誌を読んでいますか 1. はい 2. いいえ
 9. 健康についての記事や番組に関心がありますか 1. はい 2. いいえ
 10. 友だちの家に訪ねることがありますか 1. はい 2. いいえ
 11. 家族や友だちの相談にのることがありますか 1. はい 2. いいえ
 12. 病人を見舞うことができますか 1. はい 2. いいえ
 13. 若い人に自分から話しかけることがありますか 1. はい 2. いいえ

問15 あなたは何かの用事（散歩なども含めます）で出かけることが、週に何回くらいありますか。以下のあてはまるものひとつに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日程度 | 5. 月に2～3日以下 | |

問16 あなたは、日常生活の中で買い物や散歩などを含め、外出についてはどのように行動していますか。以下のあてはまるものひとつに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 自分から積極的に外出する方である。 |
| 2. 家族や他人から誘われたり、仲間がいれば外出する方である。 |
| 3. 家族や他人から誘われれば、仕方なく外出する方である。 |
| 4. 家族や他人から誘われても、極力外出はしない方である。 |
| 5. 外出することはほとんどない。 |

問17 毎日利用できる範囲にあれば良いと思う施設、または毎日利用できると思う社会サービスはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------|-----------------|----------------|
| 1. スーパー | 2. 飲食店 | 3. 福祉施設 | 4. 集会施設・スポーツ施設 |
| 5. 行政機関 | 6. 図書館の勉強スペースのような場所 | 7. 配食サービス | |
| 8. 学童保育施設 | 9. よろず相談所・日常生活の手伝い | 10. 趣味・娯楽を楽しむ場所 | |
| 11. 仲間同士で自由に集える場所（みらいず工房のようなフリースペース） | | | |
| 12. その他（) | | | |

IV 今泉台では様々な市民の活動が活発に行われており、すぐれた人材が豊富な地域だと思います。あなたの関わっている活動等についてお尋ねします。

問18 あなたご自身、またはあなたのご家族は、以下のような地域活動やサークルに参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください（参加されていない場合は、ご記入していただくかまいません）。

	あなたご自身		あなた以外のご家族	
	今泉台内で参加している	今泉台外で参加している	今泉台内で参加している	今泉台外で参加している
1. 保健・医療	1	2	1	2
2. 高齢者・障害者福祉	1	2	1	2
3. 健康づくり	1	2	1	2
4. まちづくり	1	2	1	2
5. 観光振興	1	2	1	2
6. 職業能力開発・雇用	1	2	1	2
7. 環境保全・美化	1	2	1	2
8. 防犯・災害救済	1	2	1	2
9. 子どもの健全育成	1	2	1	2

10. 国際協力・国際交流	1	2	1	2
11. 地域安全	1	2	1	2
12. 男女共同参画	1	2	1	2
13. 人権・平和	1	2	1	2
14. 科学技術	1	2	1	2
15. NP0 活動支援	1	2	1	2
16. 農業	1	2	1	2
17. 経済活動活性化	1	2	1	2
18. 編集・出版	1	2	1	2
19. 商店街活性化	1	2	1	2
20. 消費者保護	1	2	1	2
21. 生涯学習	1	2	1	2
22. スポーツ	1	2	1	2
23. 学術・文化・芸術	1	2	1	2
24. その他（)	1	2	1	2

問19 あなたご自身、またはあなたのご家族の中で、以下のような資格や技術をお持ちの方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 法律関連の資格（弁護士、司法書士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
2. 会計関連の資格（公認会計士、税理士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
3. パソコン等のIT関連の資格（技術士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
4. 建築・不動産関連の資格（建築士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
5. 介護・福祉関連の資格（介護士、保育士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
6. 語学・国際関連の資格（英検、通関士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
7. 看護・医療関連の資格（医師、看護師等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
8. 電気・機械関連の資格（電気工事士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
9. 教育関連の資格（教員免許等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
10. 調理・飲食関連の資格（調理師免許、栄養士等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
11. 観光関連の資格（観光コーディネーター等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
12. スポーツ関連の資格（インストラクター等）……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族
13. その他（)……………1. あなたご自身 2. あなた以外のご家族

問20 あなたの得意な分野についてお尋ねします。以下にあげるものについて、1～4の中であてはまるものひとつに○をつけてください。

	得意な方である	どちらでもない	苦手な方である	全くできない
1. 絵画・彫刻・陶芸	1	2	3	4
2. 音楽の演奏	1	2	3	4
3. 写真	1	2	3	4
4. 書道	1	2	3	4
5. 映画・演劇	1	2	3	4
6. 園芸	1	2	3	4
7. 華道・茶道	1	2	3	4
8. スポーツ	1	2	3	4
9. 舞踊・ダンス	1	2	3	4
10. 登山・ハイキング	1	2	3	4
11. 囲碁・将棋	1	2	3	4
12. 日本の伝統芸能・歴史	1	2	3	4
13. 地域の伝統芸能・歴史	1	2	3	4

V 今泉台の地域で見られる空き地・空き家や空き部屋についてお尋ねします。

問21 あなたのお住まいのご近所には空き地・空き家が多いと思いますか。

1. 多いと思う 2. 空き地・空き家はあるが、多いとは感じない 3. ほとんどないと思う

問22 空き地・空き家に対して感じている事についてうかがいます。以下の質問のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけて、お答えください。

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------|
| 1. 老朽化の進行等による倒壊が心配…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 2. 火災やそれに伴う延焼事故が心配…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 3. 強風等による建材の落下や飛散が心配…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 4. 不審者の侵入や不法投棄及びそれに伴う犯罪が心配…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 5. ゴミの放置や投棄及びそれに伴う悪臭が気になる…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 6. 雑草の繁茂や樹木の越境に困っている…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 7. 景観への悪影響…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 8. 撤去されるべきだと感じている…………… | 1. はい | 2. いいえ |
| 9. 地域の資源として施設への転用等に期待している…………… | 1. はい | 2. いいえ |

問23 もしも地域の空き家（空き地）を活用するとしたら、どのようなものに活用されると良いと思われませんか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

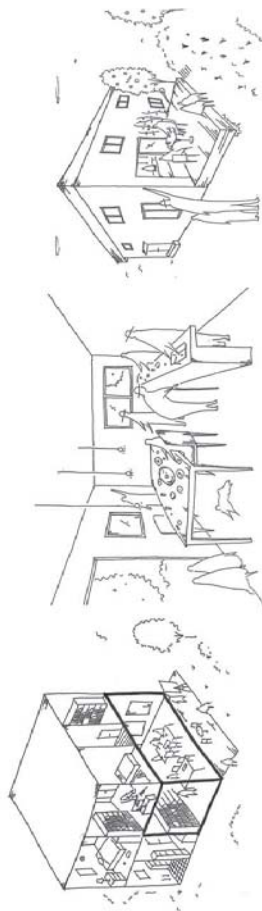
- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 若い家族世帯の住宅として居住推進 | 2. シニアハウス、学生寮など共同で住む住宅 |
| 3. 高齢者や福祉サービスの拠点として利用 | 4. 託児所など乳幼児のための施設として利用 |
| 5. 児童のための施設として利用 | 6. テレワークなど協働オフィスの施設として利用 |
| 7. ギャラリーなど文化的な施設として利用 | 8. 気楽に誰でも集まって話ができるような場所として開放 |
| 9. その他（ ） | |

問24 あなたのお住まいの住宅には、現在（または近い将来）使われていない部屋（空き部屋）はありますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. ほとんどあまり使っていない部屋がある
 2. 近い将来家族が減るなどしてあまり使われない部屋が生じる予定
 3. 使っていない部屋は（近い将来とも）無い

問25 近年、高齢者のみの世帯など、少人数家族の住宅で部屋数に余裕のある場合、その部屋を貸したり、地域の活動のために活用してもらおう事例が増えています。例えば、下に紹介するような活用例ですが、このことについて、どのように思われますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 今泉台地域内で自分以外の誰かが部屋を提供してくれることはありがたいので進めてほしい
 2. 今泉台地域には必要ない
 3. 自分の住宅も条件が整ったら、地域の人に使用してもらってかまわない
 その場合の条件（ ）
 →この可能性を探っています。こちらからご連絡させていただければありがたいので、
 連絡先（eメール、電話）をお知らせいただけます。（連絡： ）
 4. その他の意見（ ）



ある人は、若いアーティストのために、自宅の一部をアトリエとして地域に開放します

ある人は、自宅の一部と庭を利し、月に3回ホームパーティーを開催します

ある人は、家庭菜園の情報交換の場として、自宅で週末カフェを開きます

VI 最後に「みらいずみ工房」や長寿社会プロジェクトなどについてお尋ねします。

問26 「みらいずみ工房」は北鎌倉台商店街の一店舗を改修してオープンしたところで、長寿社会の今泉台の未来を考える場として活用されています。この「みらいずみ工房」について、(この調査票が届く前には)どの程度ご存知でしたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. イベント(みらいサロンやワークショップ、スマホセミナー等)に参加するなど、利用したことがあった
2. 活動には参加したことはないが、どのようなところか(場所、内容)は知っていた
3. 活動内容はよく知らないが、場所は知っていた
4. どのようなところかよく知らないが、広報(10月15日号)以外で話には聞いたことがあった
5. どのようなところかよく知らないが、広報(10月15日号)を見てはじめて知った
6. 知らなかった

問27 10月15日号の鎌倉市広報(1面に今泉台の長寿社会のまちづくり特集)を(この調査票が届く前)にご覧になりましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 特集記事を読んだ
2. 一面に載っていたのは気がついたが、内容はまだ読んでいない
3. その広報は届いたが、特集には気がつかなかった
4. その広報を見ていない(今回同封されたものを見てはじめて知った)

問28 あなたは「みらいずみ工房」を利用して、今泉台の地域のためのイベントや話し合いをしたいと思われますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. とてもそう思う
 2. すこしそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. そう思わない
- 「そう思う」と答えられた方にはぜひイベント等のご案内をしたいと思しますので、連絡先をお知らせ頂ければ幸いです
(連絡先(電話・Email・住所など)：)

【これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。】

※その他、本調査、長寿社会のまちづくりプロジェクト、みらいずみ工房などに関して、ご意見等がございましたら、お書きください。

今泉台住宅地長寿社会のまちづくりに関するアンケート調査 2013 集計結果

平成26年2月22日、横浜国立大学 建築計画研究室・今泉台町内会

先般はお忙しい中、「今泉台住宅地長寿社会のまちづくりに関するアンケート調査 2013」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お蔭さまで貴重なご意見を多数頂戴することができました。今後はこれらのご意見を参考に、長寿社会のまちづくりに関する研究の参考にしていきたく思っております。下記がアンケートの集計結果となります。

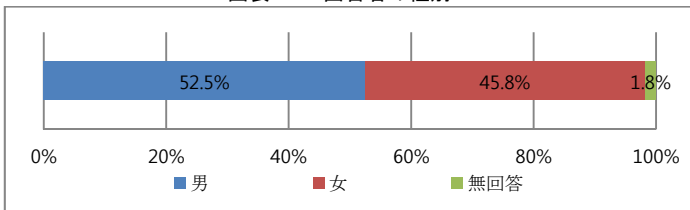
調査地域：鎌倉市今泉台1～7丁目、山ノ内(一部地域)
 調査時期：平成25年11月
 配布数：2,007票 回収数：959票 回収率：47.7%

1. 回答者の属性

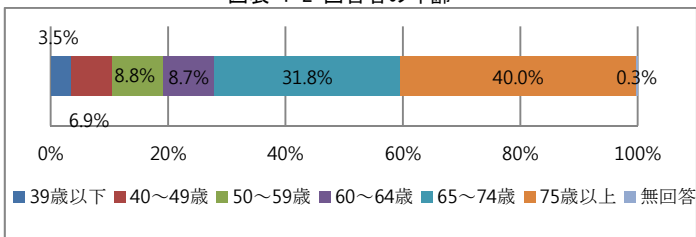
問1、問2 回答者の性別及び年齢

回答者959名のうち、「男性」が52.5%、「女性」が45.8%であった。(図表 1-1) 回答者の年齢は、27.8%が65歳未満、71.8%が65歳以上であった。(図表 1-2)

図表 1-1 回答者の性別



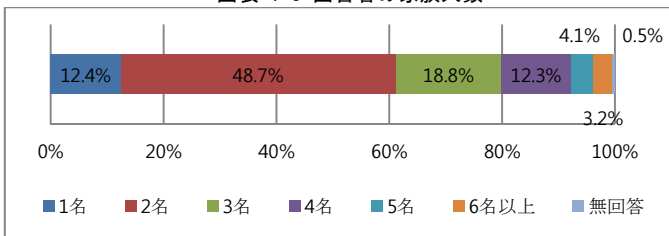
図表 1-2 回答者の年齢



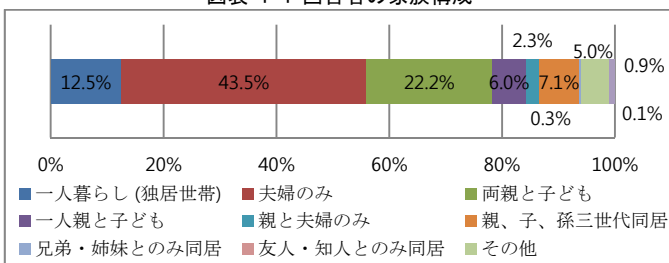
問3、問4 回答者の家族人数及び家族構成

回答者の約半分の48.7%が2人家族で、3名以上が居住する回答者は38.4%であった。(図表 1-3) 家族構成は「夫婦のみ」(43.5%)、「両親と子供」(22.2%)、「一人暮らし」(12.5%)の順であった。(図表 1-4)

図表 1-3 回答者の家族人数



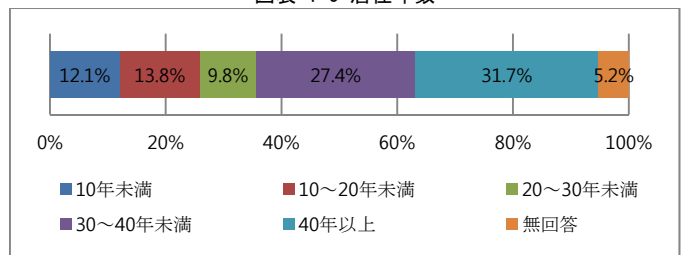
図表 1-4 回答者の家族構成



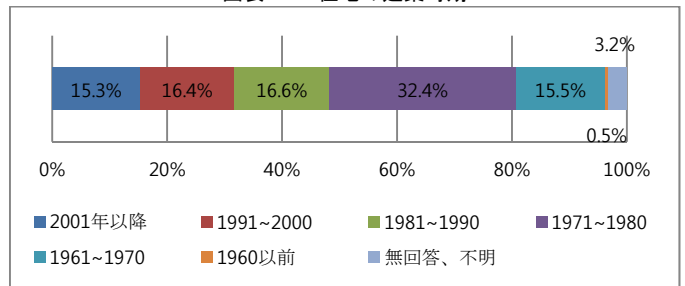
問5、問6、問7 回答者の住環境

居住年数においては、「40年以上」居住した回答者が全回答者の中31.7%を、「30～40年未満」が27.4%であった。(図表 1-5) 住宅の建築時期は「1971～1980年」が最も多かった。(図表 1-6) 次に住宅の広さにおいては、半分以上の50.9%の回答者が100～150㎡と答えた。(図表 1-7)

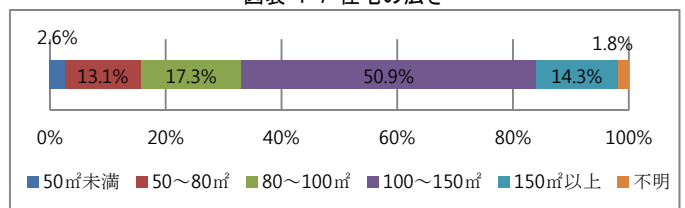
図表 1-5 居住年数



図表 1-6 住宅の建築時期



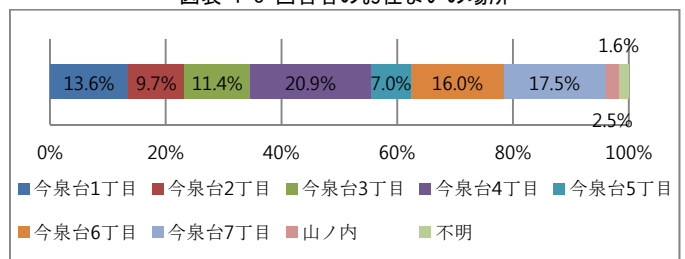
図表 1-7 住宅の広さ



問8 現在お住まいの場所

回答者の住まいの場所は2丁目が最も多く、20.9%(200名)であった。次に7丁目、6丁目の順であった。(図表 1-8)

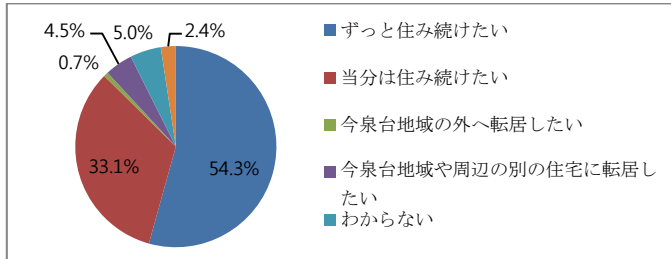
図表 1-8 回答者のお住まいの場所



問9 居住意向

居住意向においては、「ずっとすみ続けたい」、「当分はすみ続けたい」と答えた回答者が約88%であった。今泉台地域の外や周辺に転居したいと答えた回答者は5.2%、50人であった。（図表 1-9）

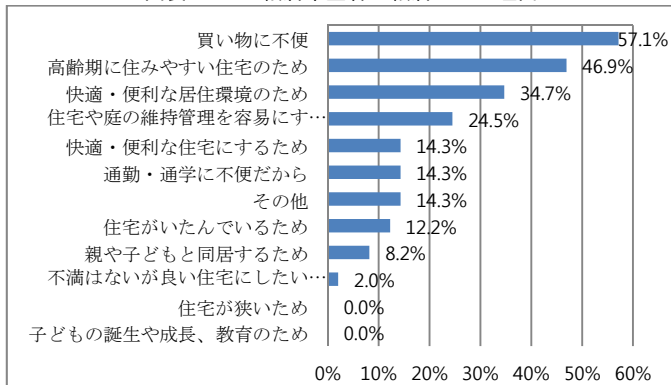
図表 1-9 現在お住まいの居住意向



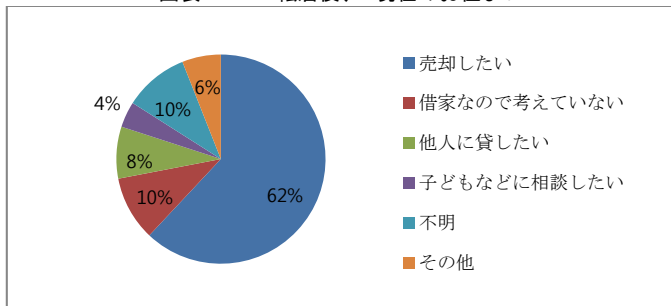
問9-1、9-2 転居したい方の転居希望理由

転居したいと答えた50人の転居を希望する理由は、「日常の買い物が不便」が最も多く、次に「高齢期にすみやすい住宅や環境のため」であった。（図表 1-9-1）
転居後、現在のお住まいは売却したいという意向が最も多かった。（図表 1-9-2）

図表 1-9-1 転居希望者の転居したい理由



図表 1-9-2 転居後、現在のお住まい

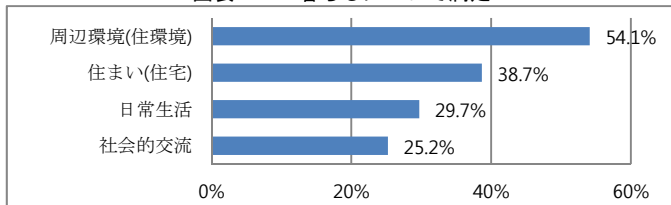


2. 今泉台における生活や住環境に対する意識

問10 暮らしについて満足

暮らしにおける満足度は「周辺環境（住環境）」が最も高い（回答者のうち、54.1%が満足）、反面「社会的交流」の満足度が比較的低かった。（図表 1-10）

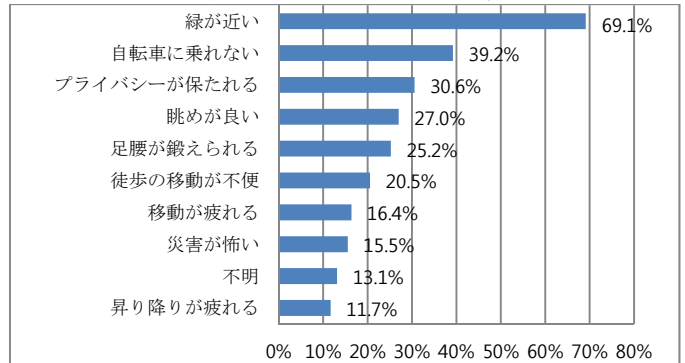
図表 1-10 暮らしについて満足



問11 坂が多いことの生活への影響

坂が多いことの生活への影響については、「緑が近い」と答えた回答者が69.1%で最も多く、次は「自転車が乗れない」であった。（図表 1-11）

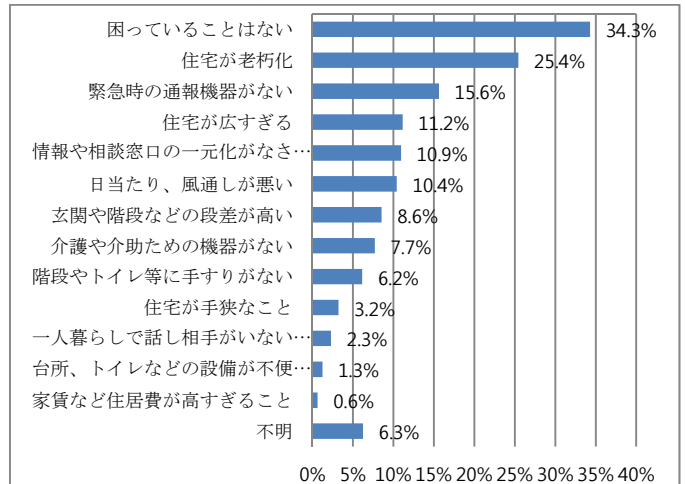
図表 1-11 生活における坂の影響



問12 現在の住まいにおける困りごと

現在の住まいにおける困りごとは、「困っていることはない」と答えた回答者が34.3%、「住宅の老朽化」が25.4%、「緊急時に連絡できる機器がない」が15.6%であった。（図表 1-12）

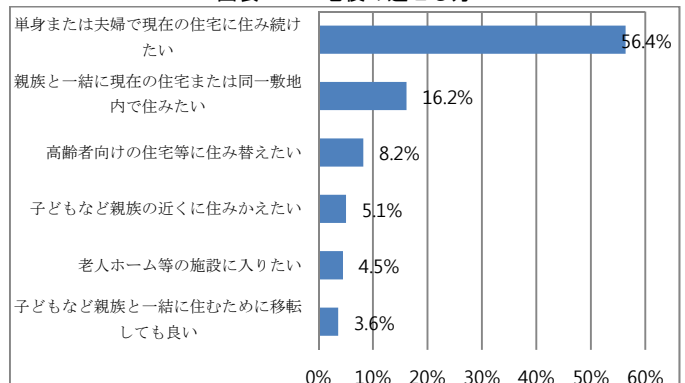
図表 1-12 お困りごと



問13 老後の過ごし方について

老後の過ごし方については、回答者のうち、56.4%が「単身または夫婦で現在の住宅に住み続けたい」と答えた。「親族と一緒に現在の住宅または同一敷地内で住みたい」と考えている回答者がその次で、16.2%を占めていた。（図表 1-13）

図表 1-13 老後の過ごし方

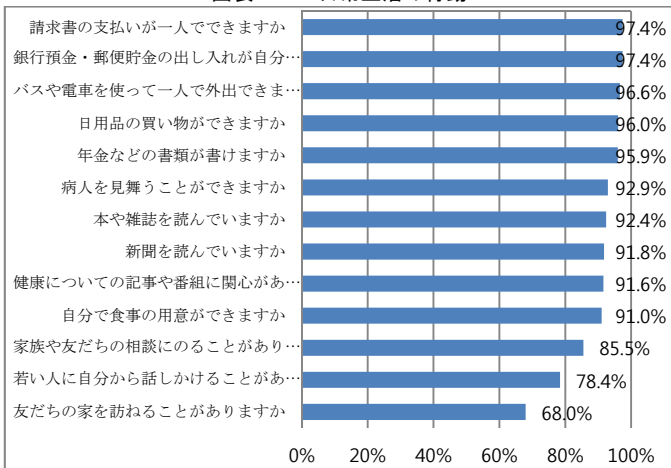


3. 毎日の暮らしについて

問14 日常生活の行動

日常生活における行動については、ほとんど全ての項目において90%以上が「出来る」か「している」と答えたが、「若い人に自分から話かける」と「友達の家を訪ねる」がそれぞれ78.4%と68.0%と最も低かった。(図表 1-13)

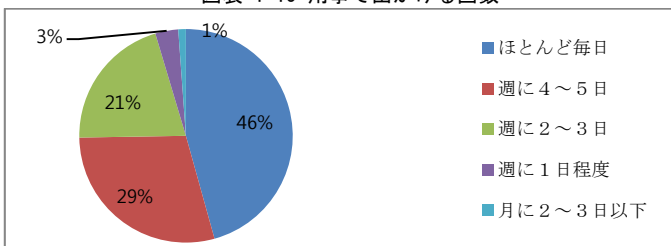
図表 1-14 日常生活の行動



問15 用事で出かける回数

回答者の約46%が「ほとんど毎日外出している」と回答した。反面、「週1日程度」、「月2～3回以下」は全体の4%であった。(図表 1-15)

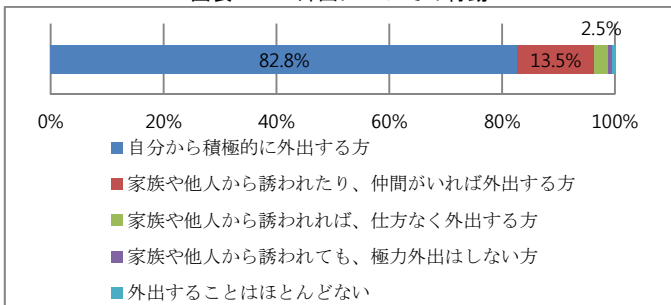
図表 1-15 用事で出かける回数



問16 外出についての行動

外出については、回答者の82.8%が「自分から積極的に外出する方」と答えた。(図表 1-16)

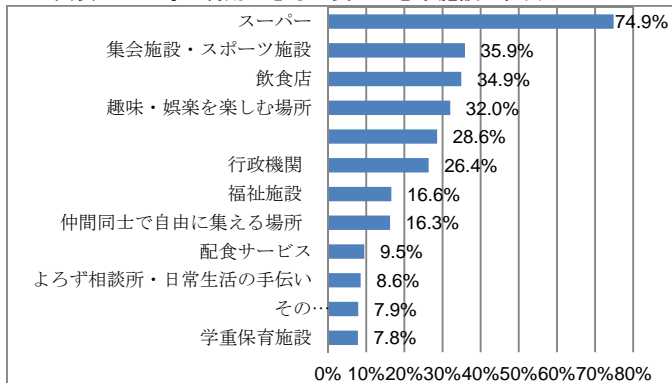
図表 1-16 外出についての行動



問17 毎日利用できると思う施設、社会サービス

毎日利用できる範囲にあれば良いと思う施設について、74.9%の回答者が「スーパー」だと答えた。次に、「集会・スポーツ施設」、「飲食店」、「娯楽を楽しむ場所」の順であった。(図表 1-17)

図表 1-17 毎日利用できると思う施設や社会サービス

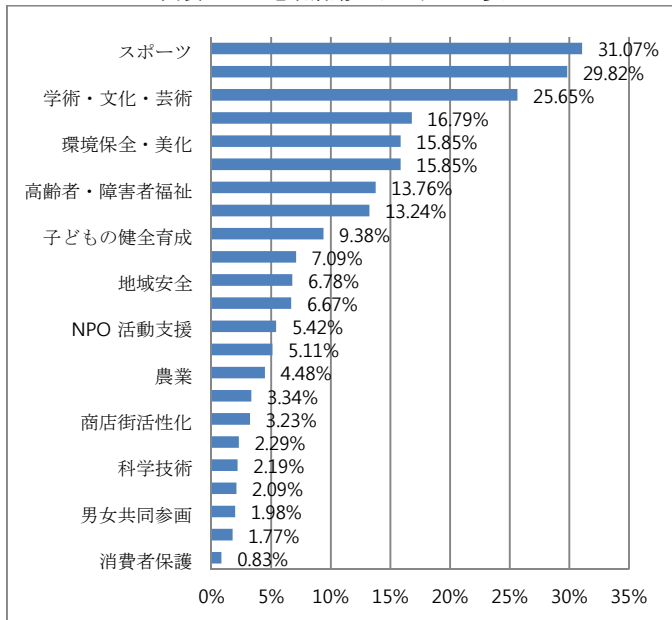


4. 市民活動の参加について

問18 地域活動やサークルの参加

回答者自身または家族が参加している活動は、「スポーツ」が最も多かった。次には「健康づくり」、「学術・文化・芸術」であった。(図表 1-18)

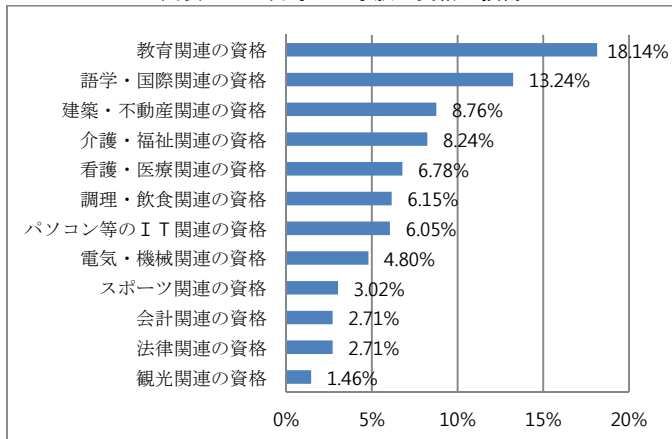
図表 1-18 地域活動やサークルの参加



問19 自身やご家族の資格や技術

自身やご家族の資格や技術において、「教育関連の資格」が最も多く、約18.1%の回答者又は家族が取得していた。(図表 1-19)

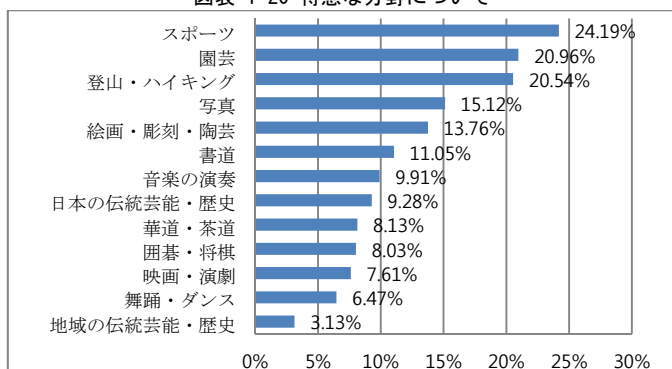
図表 1-19 自身やご家族の資格や技術



問20 得意な分野について

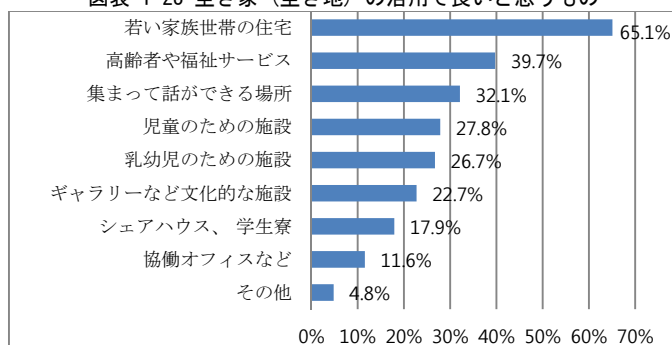
得意な分野に関しては、「スポーツ」、「園芸」、「登山、ハイキング」の順であった。（図表 1-20）

図表 1-20 得意な分野について



約40%であった。（図表 1-23）

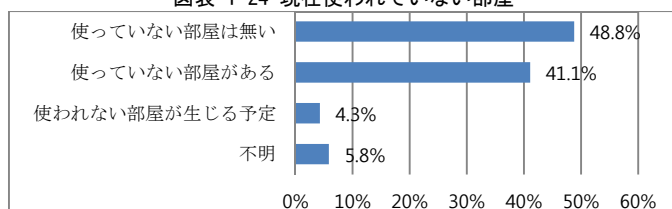
図表 1-23 空き家（空き地）の活用で良いと思うもの



問24 現在使われていない部屋について

お住まいの住宅に「使っていない部屋は無い」が48.8%、「ふだんあまり使っていない部屋がある」と答えた回答者は41.1%であった。

図表 1-24 現在使われていない部屋

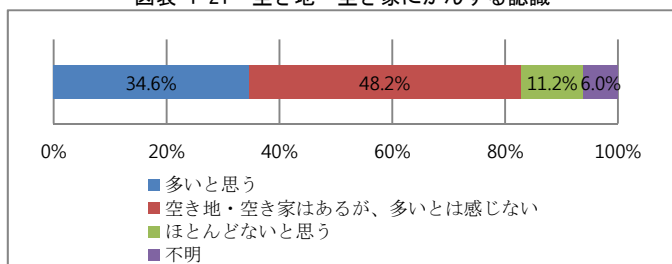


5. 空き家・空き地・空き部屋について

問21 空き地・空き家が多いと思いますか

回答者のうち、空き地・空き家が「多い」と答えた人は全体の34.6%で、48.2%の回答者は「多いとは感じない」と答えた。（図表 1-21）

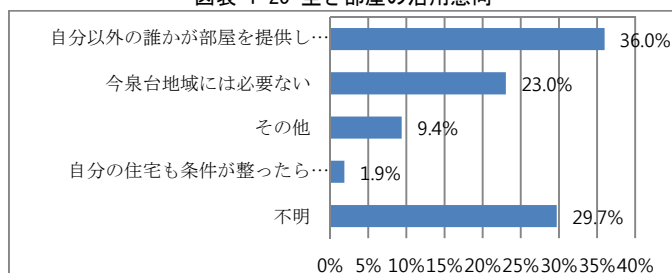
図表 1-21 空き地・空き家にかんする認識



問25 空き部屋の活用意向

空き部屋の活用においては、「自分以外の誰かが部屋を提供してくれることはありがたい」が36.0%で、最も多かった。また、「自分の住宅も条件が整ったら、地域の人に使ってもらってかまわない」が1.9%（18人）であった。

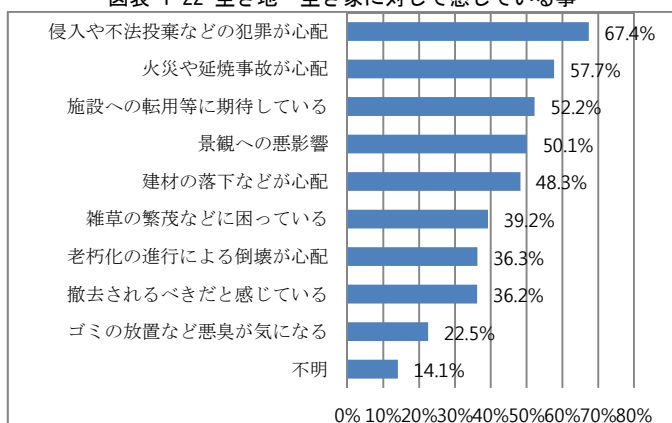
図表 1-25 空き部屋の活用意向



問22 空き地・空き家に対して感じている事

空き家・空き地について感じている事は、「不審者の侵入や不法投棄及びそれに伴う犯罪が心配」と答えた人が67.4%で最も多かった。回答者のうち、52.2%は地域の資源として施設への転用などと期待していた。（図表 1-22）

図表 1-22 空き地・空き家に対して感じている事



問23 空き家（空き地）の活用で良いと思うもの

空き家の活用については、「若い家族世帯の住宅として居住推進」が65.1%で最も多く、次いで「高齢者や福祉サービスの拠点として利用」してほしいとの回答は、